

県選出国会議員に聞く

新型コロナウイルス感染症との闘いが続いた2020年は終わり、21年が幕を開けた。県民と県内関係者が一丸となって対策を進めたが感染は拡大し収束は見通せず、最重要課題として今年に持ち越された。また、新型コロナウイルスによって延期された東京五輪・パラリンピックは、開催に向けて再び準備が本格化する。一方、21年は知事選、千葉市長選など県内で各種選挙が相次ぎ、10月が任期満了の衆院議員についても年内に必ず改選されるなどかつてない「選挙イヤー」となる。新年にあたって県選出国会議員に、全力を傾注するコロナ収束への思いや、臨戦態勢の選挙対応などを聞いた。

※各議員への質問項目は以下の通り。
 ①新年の抱負について。
 ②新型コロナウイルスに対し、感染防止と経済振興をどのように進めるべきか。また、延期となった東京五輪・パラリンピックの開催に向けて必要なコロナ対策への考えは。

中小企業支援に万全

富田 茂之氏
 公明党(比例代表)

①昨年約束した銚子沖の洋上風力 業支援に万全を期す。
 発電の促進区域指定が実現した。故郷の発展に全力を尽くす。衆院経済産業委員長として、資金繰り支援を始めとする中小企業・小規模事業の感染防止策を徹底する。②感染防止と経済振興の両立は困難な課題。感染防止策を徹底する。結局は経済振興に資する。オリパラ成功のために、選手・関係者の感染防止策が何より大事。PCR検査の徹底と競技会場や選手らの移動経路の感染防止策を徹底する。



雇用を守る法改正も

平木 大作氏
 公明党(比例代表)

①新型コロナウイルス感染症の一日も早い収束と経済の再建。衆院解散総選挙での比例南関東3議席奪還。②感染抑止と経済振興は優先順位の問題ではなく、両立こそ政治の使命。経済で失われる命があることも忘れてはならない。新型コロナウイルス対策特措法改正も視野に、事業と雇用を断じて守る。東京オリ・パラ開催は新型コロナウイルス沈静化が大前提。COVAXファシリティーなど国際枠組みを活用し、日本が公平なワクチン供給を先導する。



命と生活の安全急務

竹内 真二氏
 公明党(比例代表)

①激甚化する自然災害から国民の命と暮らしを守る「生命と生活の安全保障」が急務。インフラの老朽化対策や河川の流域治水を進め、発災後の避難生活の改善と交流するホストタウン事業は善や、なりわい・生活再建への支援体制の強化に取り組む。②ワクチン接種の体制整備を進めるが、安全確保と国民の信頼が大前提。経済好循環へ「脱炭素」デジタル「中小企業を後押し」する。海外選出と交流するホストタウン事業は善や、なりわい・生活再建への支援体制の強化に取り組む。

